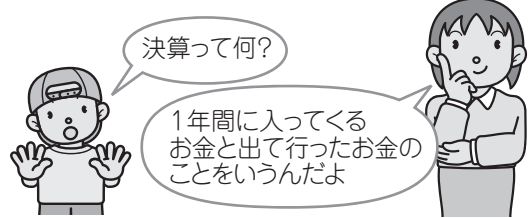




市のおサイフの中身

市のおサイフは3種類

- ①一般会計…福祉、教育、道路整備など、市の基本となる会計
- ②特別会計…国民健康保険など、使い道が決まっている特定の収入があり、一般会計と分ける必要がある特定事業の会計
- ③企業会計…水道や病院など、民間企業と同様に料金収入などにより運営する会計



平成18年度決算

歳入	市税 市の予算を支える最も重要な収入	145億円
	使用料・手数料・負担金など 公共施設使用料など	26億円
	国・道支出金など 国・道からの補助金、交付金など	122億円
	地方交付税など 財政力に応じて、国から交付される	76億円
	市債 施設を建てる時などの長期の借入れ	36億円
	貸付金元利収入 融資制度などに基づく貸付金元利収入	15億円
	繰入金 基金(貯金)などからの繰入金	10億円
計	430億円	

一般会計

歳出	人件費 職員の給料や退職金など	73億円
	扶助費 生活保護などの福祉や医療にかかる費用	90億円
	物件費・補助費など 光熱水費や消耗品費、各種団体への補助金、広域連合負担金など	59億円
	維持補修費 建物などの修繕などに要する費用	4億円
	繰出金 特別・企業会計への負担金や補助金	66億円
	公債費 借金(市債)の返済にかかる費用	45億円
	普通建設事業費・災害復旧費 学校や道路などの整備に要する費用	65億円
	貸付金など 融資制度などに基づく貸付金	15億円
	積立金 基金への積立金(貯金)	1億円
	計	418億円

家計簿に例えると

収入	給料 	14万9千円
	パート収入 	2万6千円
	親からの援助	20万3千円
	銀行からの借入	3万7千円
	兄弟などから返してもらったお金	1万6千円
	預金の引き出し	1万円
	計	44万1千円

支出	食費	7万5千円
	家族の医療費 	9万2千円
	光熱費などの雑費 	6万円
	車や家具の修理代	4千円
	子どもへの仕送り	6万8千円
	ローンの返済	4万6千円
	家の増改築費	6万7千円
	兄弟などに貸したお金	1万5千円
	預金	1千円
	計	42万8千円

※家計簿の各金額は、平成18年度一般会計決算額を同年度末の人口で割った1人あたりの金額です。

見た目は、差し引き1万3千円の黒字?になっていますが、給料やパート収入だけでは生活ができません。親からの援助に加えて、借金をしながら生活をしているのです。これからは、さらに親からの援助が減ったりするので、我慢できるところは我慢しながら、節約に努めます。

特別会計

(決算額と事業内容)

特別会計のおサイフの中にはさらに5つのポケットがあるんだ



国民健康保険

加入者が保険料を負担し合い、医療費をまかなう制度です。18年度の1人当たりの医療給付費は29万7,757円で、17年度よりも6,734円の増加となりました。

歳入	歳出	差引残高
115億4,600万円	115億8,100万円	△3,500万円

住宅事業

市内には4,664戸の市営住宅があります。老朽化の著しい住宅は計画的な建て替えを行い、18年度は舟見町団地の設計に着手したほか、東町弥生団地で3棟207台の駐車場整備を行いました。

歳入	歳出	差引残高
8億3,300万円	8億1,200万円	2,100万円



土地区画整理

ある一定の区域内の土地の位置や形、面積などを変えながら、快適・安全で住みやすくなるように、道路や公園、広場などを造る事業です。18年度は、中央地区で開運公園の整備のほか、3件の建物移転補償を行いました。

歳入	歳出	差引残高
5億7,500万円	5億2,100万円	5,400万円

老人保健

75歳以上の各健康保険加入者にかかる医療費を給付する制度です。18年度の1人あたりの医療費は95万3,492円で、17年度よりも2万2,048円の減少となりました。

歳入	歳出	差引残高
122億3,900万円	122億3,900万円	0円

介護保険

40歳以上の被保険者が、寝たきりなどで介護が必要となった時に、必要なサービスを利用できる制度です。18年度の1人あたりの介護給付費は19万860円で、昨年よりも1万960円の減少となりました。

歳入	歳出	差引残高
56億1,600万円	55億2,100万円	9,500万円

企業会計

(決算額と事業内容)

企業会計のおサイフの中には7つのポケットがあるんだよ



水道

給水戸数は4万7,270戸。給水人口は9万7,637人となりました。また、千歳ポンプ場受電設備改良工事や千歳浄水池増設工事のほか、導送配水管を3,879メートル敷設しました。

収益的収入	20億5,700万円	収益的支出	18億5,400万円
資本的収入	6億3,000万円	資本的支出	13億600万円

工業用水道

給水事業所数は1か所。年間の給水量は91万2,500トンでした。

収益的収入	1,600万円	収益的支出	500万円
-------	---------	-------	-------

病院

「オープン型MRI装置」などの医療機器を更新するなど、診療業務の充実、医療サービスの向上を行いました。入院患者数は延べ19万2,525人。外来患者数は延べ29万61人となり、17年度よりも、それぞれ1万1,349人と9,491人の減少となりました。

収益的収入	89億200万円	収益的支出	96億2,900万円
資本的収入	6億800万円	資本的支出	8億8,800万円

中央卸売市場

市場の効率的運営と、青果・水産物など生鮮食料品の安定供給に努めました。取扱量は、青果は2万4,173トン、水産物は1万1,410トンとなり、17年度と比べて、それぞれ777トンの減少、405トンの増加となりました。

収益的収入	2億3,400万円	収益的支出	2億100万円
資本的収入	1,800万円	資本的支出	3,500万円

収益的収入・支出って何?

通常の経営活動で発生する収入と支出のこと

資本的収入・支出って何?

将来の経営活動のために行う、施設などの建設改良に必要な収入と支出のこと

白鳥台開発

白鳥台地区の宅地の造成分譲を行っています。18年度の売却実績は3件で2,123万5,000円でした。不良債務は、一般会計からの補助金などにより、17年度に比べて約8億9,500万円の減少となりました。

収益的収入	4,000万円	収益的支出	3,400万円
資本的収入	9億円	資本的支出	0円

港湾整備

臨港地区の倉庫上屋14棟と、荷役機械2基の貸し付けを行いました。1万213平方メートルの造成地を分譲し、約1億2,800万円の収入となりました。

収益的収入	3億4,200万円	収益的支出	3億600万円
資本的収入	100万円	資本的支出	1億4,200万円

下水道

処理人口は9万6,707人で、普及率は98.9パーセントとなり、17年度に比べて0.3パーセント増加しました。建設改良事業では、幌萌・崎守地区の整備を重点的に進め、整備面積は18.4ヘクタール増加し、2,538.5ヘクタールとなりました。

収益的収入	26億5,700万円	収益的支出	22億4,600万円
資本的収入	10億6,600万円	資本的支出	17億1,100万円

借金はどれくらいあるの？



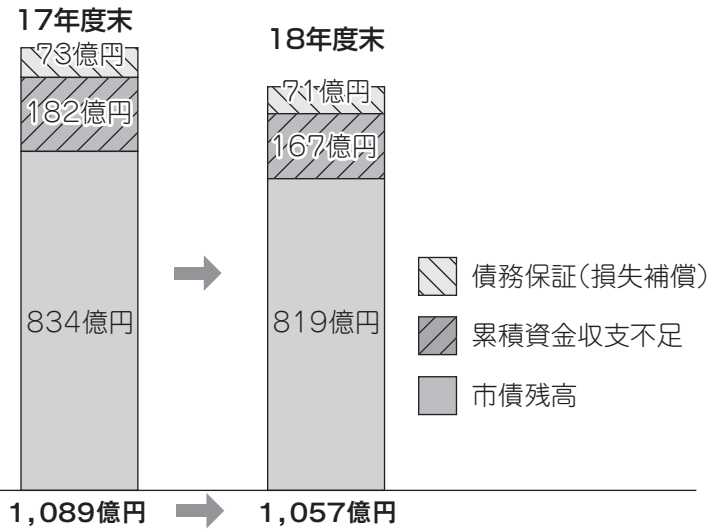
市債

建設事業の厳選と起債（債券の発行）の抑制といったこれまでの取り組みにより、市債残高は減少しています。また、市税などの一般財源をどれくらい借金の返済に充てているかという比率（実質公債費比率）は12%となっており、全道の中でも低い割合で、良好な状態です。

累積資金収支不足・債務保証（損失補償）

各会計、公社の経営努力や、一般会計からの計画的な補助金などにより、債務は年々減少しています。今後も基金などの市の貯金の活用を含め、さまざまな歳入確保策のほか、職員数の縮減、事務事業の見直しなど、あらゆる手立てを講じて、できるだけ早く債務を解消していきます。

借金残高は1,089億円から1,057億円へ



市債とは？

道路や公園など、長い年月使用する施設の建設費に充てるための長期の借金です。施設の費用は建設した時の市民だけが負担するのではなく、建設後に利用する市民も公平に負担するために、分割払いにします。

累積資金収支不足とは？

現預金や未収金などの「流動資産」から、短期借入金や未払金などの「流動負債」を差し引いた額です。手持ちの現金が不足しているため「今すぐに返済できない」短期の債務を示します。

債務保証（損失補償）とは？

市の外郭団体である土地開発公社や振興公社が、銀行などから資金を借りる場合、その借金が返済されない場合に、市が公社などに代わって返済をしたり、銀行などが被った損失を補償すること。これまでに市が肩代わりして返済したことはありません。

財政の健全性を判断する基準などが明らかになり次第、各会計の赤字解消の目標額や期間などを設定した具体的な計画をお知らせする予定です。

■一般・特別・企業会計の執行状況 (前年度からの繰越事業費を含む)

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般	413億円	186億円	45.0%	173億円	41.9%
特別	318億円	123億円	38.7%	132億円	41.4%

会計名		予算現額	執行済額	執行率
企業	収益的	収入	149億円	77億円 51.7%
		支出	149億円	71億円 48.0%
	資本的	収入	26億円	6億円 21.7%
		支出	42億円	14億円 34.5%

■市の借入金の状況

○市債残高

会計名	残高
一般	375億円
特別	62億円
企業	355億円

○一時借入金の残高

会計名	残高
企業	176億円

平成19年度予算
4月から9月まで(上期)の執行状況

市の財政状況については、市ホームページでも見るすることができます。
また、予算の執行状況などの詳しい内容を記載した「財政事情説明書」を財政課（市役所3階）、東・中島サービスセンターでご覧になれます。
《詳細》 財政課 ☎2268 <http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2300/kessan.html>